



令和元年度 自立活動指導力向上研修講座

令和元年10月3日実施

特別支援教育課

自立活動の指導は、障害のある子どもたちが自立や社会参加を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために、特別に設けられた領域です。個に応じたオーダーメイドの指導内容となるため、難しさもあります。日々の指導に悩まれている先生方140人が受講しました。

★10:00～12:00 講義・演習 ★

国立特別支援教育総合研究所

柳澤 亜希子 先生

「学びを支える自立活動の指導の在り方」

自立活動について基本的な内容にふれていただきながら、指導目標の設定の考え方、教科指導との関連など分かりやすくご講義いただきました。また「できる」状況を整えすぎず、子どもの学びの過程を丁寧に見ていくことの重要性についてもご教授いただきました。



★13:00～16:00 実践発表・演習「自立活動の指導の実際」★

午後は、自立活動の6区分のうち「身体の動き」「心理的な安定」「環境の把握」「コミュニケーション」の4つについて、協力者の先生方に実践発表をしていただきました。聞いた後、指導主事の説明を聞きながら演習に取り組みました。最後に自立活動の「指導内容設定のためのプロセスシート」を作成し、明日からの指導に役立つヒントを持ち帰ることができました。

第1分科会 【身体の動き】



県立協和特別支援学校
田原 洋明 教諭

第2分科会 【心理的な安定】



県立結城第二高等学校
渡邊 智美 教諭

第3分科会 【環境の把握】



鹿嶋市立三笠小学校
齋藤 真由美 教諭

第4分科会 【コミュニケーション】



水戸市立内原中学校
小泉 俊子 教諭

【演習】 校種ごとにグループをつくり、自立活動の指導内容を決定するための手順について、「プロセスシート」と付箋を使い、実際に演習を行いました。話し合いながら行うことで、よりよい指導目標を設定することができました。この演習は昨年度の研究で作成した自立活動の指導プロセス解説「すんなり自立活動」を活用し実施しました。

